

第 81 回 学長選考会議議事概要

- 1 日 時 令和 4 年 1 月 20 日 (木) 16 時 15 分～17 時 20 分
- 2 場 所 Zoom 会議
- 3 出席者 神保委員, 斎藤委員, 高橋委員, 三輪委員, 松尾委員,
染矢委員, 富田委員, 小野寺委員, 以上 8 名
* 欠席者: 伊藤委員, 柴田委員
* オブザーバー: 田代監事, 逸見監事

4 議事概要の確認

第 80 回学長選考会議議事概要が確認され, 承認された。

5 議事

(1) 学長の業務執行状況の確認について

牛木学長の就任後 2 年目の業務執行状況の確認について, 次のとおり行った。

①監事の意見

田代監事から, 資料 1 - 8 (令和 2 事業年度監事及び会計監査人の監査報告書) 及び資料 1 - 9 (令和 2 年度監事監査意見書) に基づき意見を伺った。

(主な意見及び質疑等)

- ・特になし

②学長との面談

議長から学長に対し, 第 3 期の最終年度にあたって, この 1 年間で取り組んできたこととその成果, 第 4 期中期計画の初年度に向けての所信について質問がなされ, 学長より説明の後, 質疑応答を行った。

(主な意見及び質疑等)

- ・新型コロナウイルス感染症の発生によって, どのような障害が生じ, それをどう克服したのかをお聞きしたい。

<学長からの説明>新型コロナウイルス感染症から得られたものも多いと考えている。例えば, 講義室のインターネット環境や換気設備の整備や, 今後のオンライン教育の利用方法等について方向性が見えてきた。また, 教職員の働き方の見直しについても, テレワーク活用の方向性が見えてきた。対策本部会議の設置等を通じて, 学内の横のつながりもよくなった。新型コロナウイルス感染症の発生をネガティブのみに捉えてはいない。

- ・外部資金の獲得等による独自の財務体質の強化について, どのように考えているかをお聞きしたい。

<学長からの説明>受託研究や共同研究では, 組織的な連携ができてきた。旭町地区には, イノベーションハブにコワーキングスペースを作り, 連携の準備ができた。寄附金は, 本学に寄附してもらおう仕組みを作っていく。すでにクラウドファンディングの仕組みも作った。新しい学生寮の建設を検討しているが, 民間資金の活用も含めて検討している。

- ・産学連携をもう一步進める必要がある。例えば、政治的な問題に対して、行政と足並みを揃えて、学長として象徴的に外部へ発信してもらいたい。また、自然災害についても、大学が連動することで頼りになるので、自信を持って進めてもらいたい。
- ・研究をする人との会話を大切にし、研究について異なる分野の研究者とも楽しい会話ができるようにならなければならない。また、大学は、総論として研究を志向することが大事である。

③総括審議

事前送付資料、監事の意見及び学長との面談を踏まえた総括審議が行われた。
(主な意見及び質疑等)

- ・学長として、よくまとめた1年間だったと評価している。この1年間の業績について、特に指摘するものはない。

本件は継続審議とし、意見がある場合は1月31日までに書面で事務局に送付すること、その後、意見等を踏まえ議長が確認書案を作成し、次回の本会議で審議・確定することが確認された。

(主な意見及び質疑等)

- ・特になし

(2) 学長選考関係規則等の改正について

議長から、国立大学法人法の一部を改正する法律が公布され、令和4年4月1日から施行されることに伴い、本学の学長選考関係規則等を改正する必要があるため、その内容について審議願いたい旨の発言があった。

その後、事務局から、資料2-1及び2-2に基づき、国立大学法人法の改正内容及び本学における学長選考関係規則等の改正案について説明があった後、審議が行われ、原案どおり承認された。

(主な意見及び質疑等)

- ・特になし

(3) 国立大学法人ガバナンス・コードを踏まえた学長選考方法等の見直しに係る検討について

議長から、本議事については次回の本会議で審議願いたい旨の発言があった。

(主な意見及び質疑等)

- ・特になし